



2026年4月9日

各位

会社名 TREホールディングス株式会社  
代表者名 代表取締役社長 阿部 光男  
(コード：9247 東証プライム市場)  
問合せ先 執行役員経営企画本部長 大島 伊貢  
(TEL. 03-6327-2622)

## 千葉県市原市における事業用地の賃貸借契約締結に関するお知らせ

当社は、産業ファンド投資法人（東京都千代田区、資産運用会社：株式会社KJR マネジメント、以下「IIF」）との間で、IIFが千葉県市原市八幡海岸通に保有する事業用地を賃借することについて合意いたしましたので、下記の通りお知らせいたします。

### 記

#### 1. 取得の理由

WX環境企業として地球の環境保全に貢献する当社は、千葉県市原市内において、株式会社三井E&S（東京都中央区、以下「三井E&S」）から約2万5千坪の事業用地を賃借して「TRE環境複合事業」構想を計画し、4つの事業が進展しております。

この度、この用地に隣接し、港湾アクセスを有する約10万坪の区画（以下、「当該土地」）を新たに賃借することといたしました。

当該土地においては、船舶輸送を必要とする高品位鉄スクラップ製造、グリーンメタノール製造用原料供給や焼却灰・汚泥再資源化といった新規事業を計画しているほか、近隣に所在するリバー株式会社市原事業所や市原グリーン電力株式会社（以下「GPW」）などの当社グループ基幹工場、既存の4事業とも協働し、首都圏から排出される廃棄物の再資源化及び原料集荷・製品輸送の効率化を狙いとした一大リサイクル拠点の確立を目指します。また、災害時に周辺地域から発生する一般廃棄物の受入や電力供給をはじめとする地域支援を行うなど、公民連携を一層強化します。さらに、廃棄物リサイクル業界の再編を主導するべくM&Aや動静脈企業連携にもこれまで以上に注力し、我が国におけるサーキュラーエコノミーのリーディングカンパニーとして、将来的には売上高5,000億円のリサイクル企業集団を目指します。

#### 2. 当該土地において計画されている新規事業の概要

##### ① 高品位鉄スクラップ製造事業

製造時のCO<sub>2</sub>排出量を従来の鉄鋼製品より大幅に削減した「グリーン鉄（GXスチール）」市場の形成・拡大に向け、政府が高品位鉄スクラップの生産支援に乗り出す状況において、当社としても大型破碎機および高度選別機を導入することにより、老廃スクラップの高品位化に取り組みます。

## ② グリーンメタノール製造用原料供給事業

千葉県のある森林にて発生する木質資源（間伐材などの未利用木材）や、家庭から排出されるプラスチック等を当社が収集・分別して異物を除去し、グリーンメタノール製造・販売事業に取り組む三菱ガス化学株式会社（東京都千代田区、以下「MGC」）へ原料として供給します。グリーンメタノール製造の商業化は、わが国初の取り組みです。この事業を通じ、京葉臨海コンビナートのGXに貢献する新規事業の構築を目指します。

ご参照：[国内初となる、木質バイオマスおよび廃棄物由来のグリーンメタノール製造・販売に向けた事業化検証に関する覚書を締結（2025年5月22日）](#)

## ③ プラスチックの油化・ケミカルリサイクル事業

マテリアルリサイクルに加え、MGCとの協業によりメタノール合成や油化を活用することで、プラスチックの品質に応じた適正処理を行い、リサイクル率の最適化を目指します。家庭から出るプラスチック等を原料として想定し、石油元売各社や化学メーカーと協議を重ねております。

## ④ 焼却灰、汚泥の資源化事業

GPWや近隣の火力発電所、周辺自治体の焼却施設などから焼却灰を受け入れて有価物を回収し、焼却灰や自治体から排出される汚泥の中間処理及び再資源化に取り組みます。

## ⑤ リチウムイオン電池（Lib）リサイクル事業

Libが内蔵される小型家電に起因する火災が頻発し、対策が急務となっています。また、Libにはリチウム、コバルト、ニッケルといった重要鉱物資源が含まれており、これらの回収・再資源化の促進も課題です。こうした安全対策と資源循環の観点から、Libのリサイクルに取り組みます。

## ⑥ ガラス再資源化事業

建材や使用済自動車、太陽光パネルに幅広く使われているガラスについて、分別・再生技術の高度化と資源循環利用の拡大を推進することによって、廃棄物削減とCO<sub>2</sub>排出抑制、資源の安定供給に貢献します。

## ⑦ 蓄電池事業

敷地内に蓄電池施設を整備することで需給の平準化を図り、脱化石燃料によるCO<sub>2</sub>排出抑制、地域の自然環境保全、そして高度循環型社会の形成に貢献します。

## ⑧ その他動静脈企業から提案される協業事業

### 3. 事業用借地権設定契約の概要

(1)	所在地	千葉県市原市八幡海岸通（三井E&S千葉事業場内）
(2)	敷地面積	333,477 m <sup>2</sup> （100,877 坪）
(3)	賃貸人	三井住友信託銀行株式会社（信託受益者：産業ファンド投資法人）
(4)	契約期間	2029年4月1日～2079年3月30日（50年後の応当日の2日前） <sup>(注)</sup> 2026年4月9日～2029年3月31日（3年間）については三井E&Sとの間で別途、転貸借契約を締結致しました。

(注) 本事業用借地権設定契約は、IIFと三井E&Sとの既存借地権設定契約が解約された後、IIFが三井E&Sから当該土地の明渡しを受けたことを停止条件としており、契約の始期・終期は現時点の想定を記載しています。



「TRE 環境複合事業」構想

以上